SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　SYSKEN

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は従業員に説明し共有している。 ・経営目標を経営者は従業員に説明し共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程を明文化し、web上でいつでも閲覧できる環境を構築 ・コンプライアンス委員会の設置、コンプライアンスの推進に関する基本方針及び諸施策案件の審議および決定をしている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・コンプライアンス推進責任者は、行動指針に基づき当該組織に対するコンプライアンス推進の周知の徹底および教育・研修の計画、実施を行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・ISO推進室を設置し、自ら定めた環境方針のもと、環境保全への取組みを推進。JIS Q14001（ISO14001）を取得している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社員就業規則において知的財産権等の保護を明文化している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・特定個人情報取扱規定、情報セキュリティ管理規定により具体的な対応を策定し情報漏洩防止及び管理を徹底している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客満足監視・測定規定によりステークホルダーを含む顧客の苦情や検査・試験及び賞賛などを把握することにより、顧客満足度の向上に努めている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・コンプライアンス規程により法令、社会的規範および社内規範等を遵守し、不正・不祥事の予防に努めている。 ・安全確認日を設定し事業パートナーと毎月1回定例的に認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・地震の経験を踏まえ、BCPを策定し、年に1回の避難訓練等を実施している。 ・備品・什器類の耐震対策、安否確認とレスキュー体制の構築、ライフライン及び飲料水、レスキューフーズの確保に取り組んでいる。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	東証一部上場会社との経営統合により、グループ会社一体となって、中期経営計画に従い、計画的に管理体制や将来性、事業計画を検討し、また、情報システム統合を実施して、事業承継の対策を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「従業員就業規則」及び「コンプライアンス規則」により、各種ハラスメントの禁止を定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・月に1回「安全確認の日」を設け、安全や健康に関する講習会を行っている。 ・年に1回ストレスチェックを行い、メンタルヘルス対策に取り組んでいる。 ・月1回の安全衛生協議会および安全衛生委員会等を開催し、安全衛生関連情報の社員・協力会社への情報共有の実施に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・「エリア社員制度」を定め、雇用形態に関わらず公正な待遇を行っている。 ・育児休暇・定年退職者（高齢者）再雇用制度を導入している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・従業員の時間外労働を可視化した資料を社員及び役員へ周知し、状況把握と過度な長時間労働の防止に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「人材育成基本方針」を定め、等級や年代に応じた教育を実施している。 ・資格取得を推進し、報奨金制度を行っている。 ・ドローンパイロット研修（社内・社外）の実施及び参加をしている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・新型コロナ感染予防対策の実施と在宅勤務制度の運用に取り組んでいる。 ・年次有給休暇の取得推進や週1回の定時退社日を設け、従業員の心身のリフレッシュを推進している。 ・メンタルヘルス研修および年1回のストレスチェックを行い、従業員の健康管理を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・「女性活躍推進法に基づく行動計画」を作成・公開し、女性が活躍できる環境整備に取り組んでいる。 ・障がい者雇用、定年退職再雇用など、人材が活躍できる職場環境の整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・「在宅勤務制度」を制定し、就労環境の向上及び新しい生活への対応を推進している。 ・ウェブ会議のアカウントを設け、積極的な利用を推進している。			3					8	9.1		11	12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　SYSKEN

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・システム企画部を中心としたDXの推進を進めている。 ・RPAやAI-OCR、コミュニケーションツールでのWowTalk導入、ウェブ会議・ウェブ商談、テレワークの推進を行っている。 ・全社員へのPC及び5G端末の配備、ドローンビジネスの展開を行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　SYSKEN

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		環境保全への取組みを推進するために、JIS Q14001(ISO14001)の要求事項に基づいて実施する環境マネジメントシステムを文書化した環境マニュアルを作成し、取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力デマンド監視システムにより電力の使用量を把握・分析し、節電に取り組んでいる。 ・事業所の蛍光灯にはLEDの使用を徹底している。 ・社用車にEV車を2台、ハイブリッド車を20台導入している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・車両日報により、社用車の給油量・走行距離を把握・分析し、温室効果ガスの抑制に取り組んでいる。 ・社用車にEV車を2台、ハイブリッド車を20台導入している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境マネジメントシステムで定める行動指針を一般に公開し、事業活動における環境への負担軽減に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・業務用タブレットを導入し、資料等のペーパーレスに取り組んでいる。 ・再生用紙の利用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・阿蘇グリーンストック（阿蘇の緑と水の大地保全活動）を支援している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・社用車にEV車を2台、ハイブリッド車を20台導入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・レスキューフーズの賞味期限前での福祉団体への寄付を行っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・オフィスの植栽に取り組んでいる。 ・地域の緑化活動に参加している。阿蘇グリーンストック（阿蘇の緑と水の大地保全活動）を支援している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・事業活動において大型太陽光発電の建設工事に携わっている。 ・事業所内でLED照明を導入している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・阿蘇グリーンストック（阿蘇の緑と水の大地保全活動）を支援している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・「阿蘇グリーンストック（阿蘇の緑と水の大地保全活動）の野焼きボランティア」に毎年参加し、これまで計17回の参加実績がある。 ・近隣企業とともに花壇を整理し、「花いっぱい運動」を行っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・給茶機の設置によるペットボトル（プラスチック）ゴミの削減を行っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・「通勤手当支給規則」の中で原則として定期乗車券による支給を定め、公共交通機関の利用を推進している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・EV車2台およびハイブリッド車20台を導入しており、今後の拡大も検討している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　SYSKEN

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・工事品質を確保する仕組みとしてISO9000（QMS）認証を受けて日々、品質の確保を行っている。 ・顧客及び設備情報管理としてISO27000（ISMS）認証を受けて情報セキュリティの管理を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所はフルフラット、ユニバーサルデザインエレベータを導入し、障がい者、高齢者にも使える多目的トイレや優先駐車場も完備している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・障がい者雇用、定年退職再雇用など、人材が活躍できる職場環境の整備に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・「阿蘇グリーンストック（阿蘇の緑と水の大地保全活動）の野焼きボランティア」に毎年参加し、これまで計17回の参加実績がある。に毎年参加し、これまで計17回の参加実績がある。 ・近隣企業とともに花壇を整理し、「花いっぱい運動」を行っている。 ・人吉市企業版ふるさと納税や自殺予防に取組む「熊本いのちの電話」等に社会貢献活動支援金の寄附を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、非常食などの防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・転倒、下敷き防止のため、背の低いキャビネットに買い換えを行った。 ・災害対応、防火体制を構築し、事務所内に体制図等を掲示している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・月一回の安全確認の日の際に、救急救助講習を行っている。 ・熊本地震の際、大会議室を近隣ガス会社災害対策室として貸出した。 ・会社の施設にAED（自動体外式除細動器）を設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・防火設備（パッケージ型自動消火設備スプリネックス）の販売促進（提案）を行っている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs社内推進体制を構築して普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れて、学校の授業では経験できない就業体験の場を提供している。 熊本県立大学、熊本学園大学、熊本工業高校、八代工業高校等				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元大学等に向けて、個別を含めた就職説明会を開催・参加している。 ・若者や子供を支援する寄附・協賛等を行っている。 （熊本大学工学部　教育・研究活動支援寄附等）				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。